兵庫も台風被害状況調査

海コン部会　役員会、隔月開催へ

兵ト協海上コンテナ部会（佐賀里隆之部会長）は9月13日、兵庫県トラック総合会館で役員会を開き、台風21号による部会員事業者の被害状況を調査することを決めた。同調査は大ト協海コン部会などがすでに実施を決めており、同部会など3者連名で行う。

9月4日に近畿地方を襲った台風21号は阪神地区の海コン事業者にも大きな被害をもたらし、大ト協部会と海コン協会は被害状況を調査したうえで国などに支援要請を行う方針を決めている。

役員会ではこうした動きに合わせて部会員に3者連名のアンケート用紙を配布、調査することを了承した。

同部会ではターミナルの渋滞解消に向けて活動を続けているが、ターミナルや港湾関係に詳しい部会員に渋滞対策委員を要請、ターミナルへの訪問時にその都度オブザーバーとして参加・協力してもらうことも決めた。

役員会はこれまで毎月開催していたが、大ト協や海コン協会が今後、3カ月に1回の開